

横山隆一記念まんが館(高知市) まんが文化発信の拠点を目指して

複合文化施設「高知市文化プラザかるぼーと」の中にある横山隆一記念まんが館は、横山隆一の顕彰、まんが文化の振興を目的とした展示はもちろんのこと、無料のまんがライブラリーも併設しており、気軽にまんが文化に触れられる場として親しまれています。このまんがライブラリーのスペースは、さまざまなまんが体験イベントにも利用されています。毎年恒例の夏休みまんが体験イベント「めざせ！まんが職人」では、おもに小学生を対象に、まんがを使ったワークショップなどを行っています。中でも、想像上のユーモアあふれる魚を描いて切り抜き、箱の中に



まんが水族館をつくろう！



「まんがで遊ぼう！」
(まんさいーこうちまんがフェスティバル2005)

細い糸で吊して「水族館」を作る「まんが水族館をつくろう！」が人気で、岩や海草を立体的に作ったり、波を表現したりと、毎回大人顔負けの独創的な作品が生まれています。

その他にも、無地のカレンダー、缶バッジなどにまんがを描いて自分だけのグッズを作る「まんがで遊ぼう！」などのまんが体験イベントや、まんが教室などを、季節や企画展に合わせて実施しています。これらのイベントでは、子どもたちに自由に描いてもらうことを基本としており、難しく考えず、まずは楽しんで描くことで、まんがを描くきっかけとなれば、と考えています。

また、市民参加イベントとして毎年開催しているのが、「まんさいーこうちまんがフェスティバル」です。「まんがによるまちお

こし」事業検討委員会の提案で二〇〇三年から始まったこの大イベントでは、複合文化施設内のホールやギャラリーなども活用し、施設全体が「まんが一色」となります。当初は、アニメ上映会など、来場者が受け身で参加するイベントが主でしたが、翌年から市民ボランティアによる実行委員会を組織。委員の提案により、前述の「まんがで遊ぼう！」のほか、丸と線を使ってまんがを描く「まるせんくんコンテスト」など、手作り体験もできる参加型企画が増え、たくさん親子連れで賑わいました。地元高知在住のプロまんが家や、セミプロのまんがグループの積極的な協力もあり、まさに「地域で育てるまんがのお祭り」として定着しつつあります。

当初は四月の第一土日に開催していましたが、二〇〇五年から「まんがの日」である一月三日に変更。この日にあわせて、4コマまんがだけに特化した「まんがの日記念・4コマまんが大賞」も新たに創設しました。学校や家族での応募も多くみられ、気軽にまんが創作に挑戦している様子が見えます。

まんが館は、これらの活動を通じて、地域に密着したまんが文化発信の拠点となっていくことを目指しています。

(学芸員 奥田奈々美)